

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		センターキッズ					公表日 2025年11月20日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用定員に応じて、療育室（一人一部屋）を準備している。	どの部屋がお子さんにとって適切かを、日々調整する。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		それぞれのお子さんに応じたプログラムを提供できるよう、個別対応をしている。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		個々の部屋を準備し、プログラム時にはここに合わせて構造化を行っている。	玄関の車いす用スロープに、靴が置かれていることがあるため、置かないように周知する。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎朝清掃を実施している。	職員が共通認識をもち、汚れていないか確認し、清掃する。巡回清掃を行う。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		お子さまに併せて、個別の部屋や場所を使用することができるようにしている。	時間帯によっては全室が埋まっている場合がある。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎朝、ミーティングを行っており、目標設定などを伝達している。事案によって、関係者に集まってもらっている。	全てのスタッフが参加できていない場合もある。事案によって、その機会を設ける。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		今回初めて評価表によりアンケートを実施した。	今後業務改善に繋げていく。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		日々の事案については、関係スタッフに声をかけ、相談している。また年に2度、個別面談の機会が設けられている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○					
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月1～2回の研修会やケース会議、外部の講師等による講習を受けている。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		HPに公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		サービス利用前には、ニーズに応じたアセスメントを実施している。計画作成時には、情報共有している。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		こどもに日々関わる担当療法士と児童発達支援管理責任者で検討している。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画に沿って個別訓練を実施している。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		必要に応じて、アセスメントを実施している。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ねらいや支援方法を踏まえながら支援している。	「地域支援・地域連携」は設定できていない。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		担当療法士が、他スタッフや、先輩スタッフなどに相談しながら立案している。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		記録を毎回作成し、前回を踏まえて活動内容を考えるように工夫している。			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動が主ではあるが、お子さんにニーズに合わせて一部集団プログラムを実施している。			

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝支援開始前にミーティングを実施し、予定や役割を確認している。	個別訓練のため、支援の内容までは確認していない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		訓練記録は作成している。必要に応じて気づいたことの関して共有はしている。	打ち合わせという形で必ずはしていない。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援内容や、お子様の様子、保護者からの意見を記録し、次回の支援の参考にしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的にモニタリングを行い、適切な見直しをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせで支援を行っているか。	○		お子様や保護者の主訴に応じて、基本活動を組み合わせて作成している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		お子様が成功経験を積み、自分で決めることができるように支援している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		相談支援事業所の担当者が開催した会議に参加した。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		学校や保護者からの申し出に合わせて、連携をしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		保護者の送迎で実施しているため、送迎時の対応等の連絡調整は必要としていない。	学校の行事等は把握しているが、学校との情報共有は行っていない。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		情報共有の場に参加している。一部ではあるが、事業所間で支援内容などの事前確認を行っている。	全てのお子さんには行っていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		保護者から依頼があった場合は所見を作成したり、情報伝達を実施している。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		事業所の連絡会に出席している。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域の子どもも参加できるプログラム（少林寺拳法クラブ）を実施している。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○	できていない。	前向きに参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		訓練終了後に様子を伝えたり、情報共有をしている。	
保護者への	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		訓練の際に、保護者への支援を行っている。家族が参加できる活動や、保護者向けの研修を実施している。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリングや訓練終了後など、保護者と情報共有を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画書をもとに説明し、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要な際に支援を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		家族で参加できるプログラムを実施している。	

説明等	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		契約時に説明している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		機関紙を作成配布したり、SNSを利用している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		最大限注意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		行なっている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		コンサートなど、実施している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを作成し、発生を想定した訓練を実施している。	保護者に周知できていない。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、必要な訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		保護者と情報共有をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事の提供はないが、事前に確認し、プログラム実施時に留意している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○	安全を確保できるように、計画を作成している。	今後保護者にも周知する。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		記録を作成し、事業所内で共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止の研修を行って、適切な対応をしている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束をしていない。	